

**ノイエスだより** ノイエス朝日  
(朝日印刷工業株式会社)  
 群馬県前橋市元総社町73-5  
 TEL 027-255-3434  
 FAX 027-255-3435  
<https://www.neues-asahi.jp>  
Communication House  
**NEUES**  
 ASAHI

世界中で異常気象のようです。毎月そのようなことばかり書いていっているような気がしますが、政治的なことや国際問題などから少し心を休めようと空を仰ぐと……体温よりも高い気候や大雨の黒い空で、どんよりした気持ち晴れる日がなかなかありません。この夏は一週間ほどの全国キャンプに参加する予定でしたが、その内容もよく考えないと命の危険と隣り合わせになってしまうかというほどです。中学の部活も暑い日は中止だそうで、だんだんと教育機関の体制やカリキュラムなども(夏休みの時期とか)変えていかないといけないのかもしれないと心配です。

カリキュラムを変えようといえ、最近の学校では図画工作や美術の授業が減っていく傾向にあるそうです。一方では、市内の幼児教育などでアートのインテグレーションを取り入れたりしているところもあります。

美術教育とはいったいなんでしょう。私も学生時代に美学とかいろいろ「勉強」をしましたが、それは実際のところ今それほど心に残っているわけでもなく、単位取得のためにやっていた気がします。それよりも、実際に見て鳥肌が立ったような絵画とか彫刻にであったこと、音楽を聴いていて涙がでたこと……そういった経験が自分の中で「美しい」とか「魅力的」といった感覚を作ってきて、自然と美術館や音楽会に「行きたい」という気持ちを持たせてくれているのだと思います。

私自身の小中高の学生時代の美術の時間は、自分が表現するものを否定されたりすることはなく様々な形で認めてもらえたり、自分と違う表現の生徒の作品の評価を「なるほどな」と思えるような形で先生がみんなの前でしていたことを思い出すと、私は先生に恵まれていたのでしょうか。もちろん作家になるには多くの技術や歴史を学ぶ努力と知識が必要だと思いますが、それ以外の幼児や一般学生を対象とした美術教育といった場合は、創作する楽しさや鑑賞する大切さ、だれかと気持ちを分かち合う喜び……それがもっと全面的に伝えられたいと思います。コミュニケーションワークショップの最たるものだと思うのです。成績をつけるのが難しいとか、受験に関係ないとか、そんなことで美術の時間を減らしてほしくないです。でも個人的には体育を減らしてもいいと思ってしまうのは、私が美術が好きで体育が苦手だったからという勝手な思いです。でも体育の結果がわかりやすく活躍の場も多く、先生方も経験者が多くてあまり授業を減らす方向にはならなそうなので心配しなくても大丈夫そうです。

大人の事情や家庭の事情で子どもの成長や好奇心の芽が育たなくなるのは辛いことです。美術鑑賞や創作活動は学校以外でもできるかもしれません。それが、そうやって所得だけではなくて様々な意識格差が広がっていくのを感じます。これが民主主義か……と様々な場面で少し限界を感じる日々でした。  
(橋本)

**ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内**

※ご来場の際は、マスク着用と手指の消毒を引き続きお願いいたします。

**斉藤健司作品展** 〈企画〉

—77年目の夏—

会期 八月二日(火)～九日(火)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2



**第57回 自由美術群馬展**

会期 八月二十日(土)～二十四日(水)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

**長岡知展** 〈企画〉

—マイセレクトション—

会期 八月二十七日(土)～九月四日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2



**ノイエス朝日 9月の展覧会**

**齋藤赤山 書展** 〈企画〉

仏への祈りと万葉のこころ

会期 九月七日(水)～十四日(水)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

**群馬作家展** 〈企画〉

会期 九月十七日(土)～二十五日(日)

午前十時～午後五時(最終日は午後三時)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

**出版情報**

**『ノコギリ屋根の風景』**

写真・文／養崎昭子 桐生タイムス社

定価一五〇〇円＋税



桐生の街中を散策していると「ノコギリ屋根の風景」に出会う。子供の頃からの見慣れた風景であり、遊び場でもあった。天井が高く一日中光が差し込み、そして単調に機械の音があふれていた。

最近では昔のままのノコギリ屋根を飲食店やギャラリーやアトリエなどに再利用し、新しい命を与えている。桐生タイムス紙上で二〇一四年三月から二〇二〇年八月まで一五〇回にわたって連載されたものを一冊にまとめた本書を楽しんでいただければ「桐生再発見」になると思う。今は解体されたものもある。しかし、路地を入るとギザギザのノコギリ屋根に出合える。一つ一つが繊維産業最盛期の面影とともに味のある顔を見せている。

\*本書は、ノイエス朝日で取り扱っています。展覧会会期中にご来場ください。(T・M)